

理學博士 山本一清主筆

# 天 界

(第 21 卷)

第 2 3 7 號

昭和16年三月

## 本 號 要 目

口繪 カニンガム彗星の寫眞	
(卷頭隨筆) アマチュアといふこと等……………	理學博士 山本一清 65
スライファ博士に呈す……………	遊星面課長 伊達英太郎 68
黃道光の觀測手引……………	本田 實 71
日本へ渡つて來た望遠鏡……………	73
巨星と矮星……………	キルソン山天文臺 A. H. ジョイ博士 74
冬の星(俳句)……………	76
アルミニウム反射鏡……………	守屋義麿 77
月と6ペンス……………	79
天降の靈劍……………	村山翠溪 80
“OKABAYASI-HONDA”彗星……………	83
天界新知識(7件)……………	84
觀測部月報:流星,黃道光,太陽,彗星……………	88
變星課觀測報告……………	93
“1942年”の天文曆表……………	98
1941年三月の天象……………	100
各地よりのたより:中支,アメリカ……………	103
編輯局より……………	104

京大圖

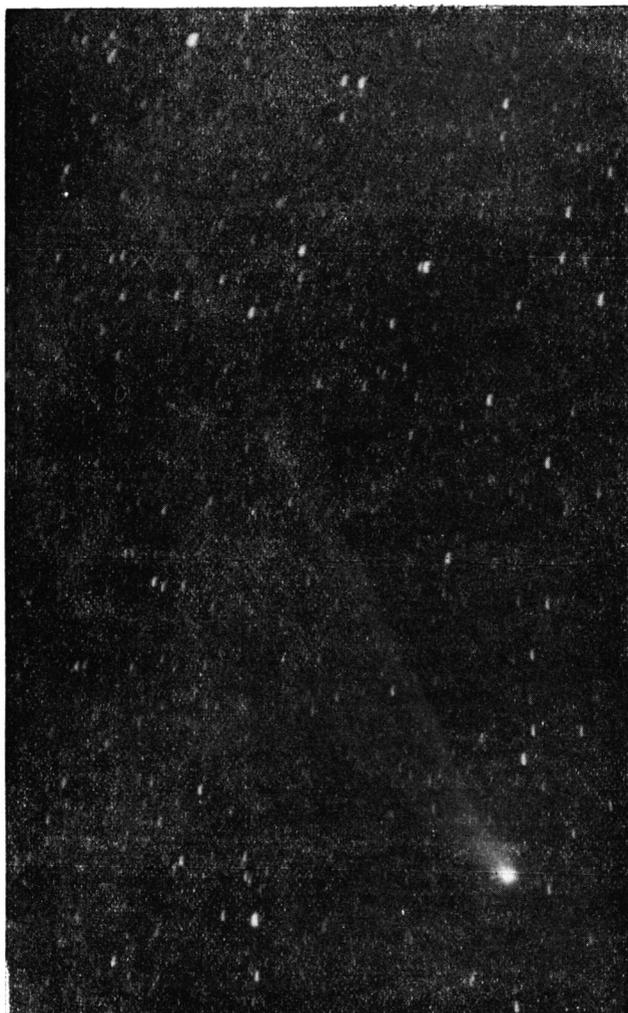
16.2.10 受付

本館: 倉敷

東 亞 天 文 協 會

事務局: 堅田

カニンガム彗星  
COMET CUNNINGHAM, 1940 C



昭和15年十二月27日  
清水眞一氏撮影

Dec. 27, 1940  
Photo by S. Simizu

## 東亞天文協會急告

さきに、スライフ博士の火星の寫眞を限定數だけ希望者に分ちましたところ、意外にも諸方面から夥しい要求がありまして、本會事務局は面喰つたわけでしたが、かうした珍らしい寫眞の要求が他にもある事が分りましたので、今般とり敢へず下の如き寫眞を複製して、會員に限り、配布することにしました。成るべく早く御申込み下さい。月末までに發送します。

**天文寫眞 第1輯** 價、一枚に付き金1圓40錢(送料共)、申込と同時に送金されたし。皆、非常に珍らしいもので、始めて發布されるもの、又は日本では殆んど手に入らぬものばかりです。すべて説明文つきです。

1. **土星** リク天文室にて觀察されたもの。今回の接近の記念として絶好品。
2. **ペル1の皆既日食** 1937年六月8日、花山の觀測隊が撮影したもの。
3. **フィヌラ彗星** 1937年七月、賑やかなベルセ星座を北進する景觀。
4. **盛装のアインスタイン博士** 相對原理の創設者の見事な肖像。
5. **小マゼラン雲** 近年の宇宙研究上に有名な天體で、日本では見えない珍景。

### 觀測部配布印刷物

★ 東亞天文協會急報 (不定期、但し毎月數回發行)

配布實費 (送料を含む)

年額 2圓40錢

#### 觀測用印刷物に就いて

- |                 |   |               |
|-----------------|---|---------------|
| ○太陽黑點報告用紙       | } | 事務所宛          |
| ○流星觀測用星圖(第1—6圖) |   |               |
| ○流星觀測報告用紙       |   |               |
| ○變星觀測用星圖        | } | 倉敷天文臺宛        |
| ○變星觀測報告用紙       |   |               |
| ○黃道光觀測用星圖       | } | 瀬戸黃道光觀測所宛     |
| ○黃道光觀測報告用紙      |   |               |
| ○木星スケチ用紙        | } | 瀨星面課長 伊達英太郎氏宛 |
| ○火星スケチ用紙        |   |               |

\* 上記宛に、各々「送料」を適宜添へて、直接に申込まれ度し。

廣  
告

山本一清博士監修

新刊、太陽面經緯度圖

8枚一組

定價 金50錢 (送料共)

滋賀縣堅田局區内 東亞天文協會事務局

# 關西光學研究所

## 製 品 目 録

1. 反射望遠鏡 携帶用……口径 4種, 5種, 6種, 7種. 倍率 20×以上.  
据付用……口径 8種より30種迄, 倍率 20×以上御要求に  
應じ製作致します.
2. 反射双眼鏡 口径 3種, 4種, 5種. 倍率 6×15×
3. 2600 號 (ミヤニ式反射望遠寫真機普及型)  
小型携帶用……口径 8種, 焦點距離 45種, 明るさ f5.6  
なほ又, ライカ, コンタックス其の他市販一般カメラに兼  
用可能です.
4. ミヤニ式反射望遠寫真機 (活動寫真機兼用)  
伊號 (太陽コロナ撮影兼用) 口径 15種, 焦點距離 100種, 明るさ f6  
呂號 I 型 口径 10種, 焦點距離 60種, 明るさ f6  
II 型 口径 10種, 焦點距離 45種, 明るさ f4.5  
其他御要求に應じ口径30種迄長焦點に至るものも任意製作致します.
5. 天體用反射望遠鏡 

經緯儀 } 赤道儀 }	8種より30種迄任意御要求に應じます.
----------------	---------------------

  
(寫真機兼用)
6. 對空監視用, 反射望遠鏡  
  
ステレオ反射望遠寫真機 (航空寫真用)  
  
反射望遠測距儀 等御希望御要求に應じ製作致します.
7. オプティカル・フラット (光學的平面)  
  
其の他各種凹, 凸面鏡の研磨製作を致します.

東亞天文協會  
會員に關する報告

〔入會〕

伊秩清親(宇部)	山田春雄(前橋)	秋澤保(高知)
安達寬(京都)	高橋左右平(東京)	竹谷實(兵庫)
梶村幸雄(兵庫)	巴山隆(京都)	和泉三思(臺北)
濱部康彰(岸和田)		

〔觀測部入部〕

伊秩清親(宇部)	高橋左右平(東京)	竹谷實(兵庫)
河合孝一(滿洲)	佐藤晃(東京)	青井秀生(名古屋)
内藤一男(前橋)	山崎勝三(東京)	李源喆(朝鮮)
石橋正(東京)	鈴木茂男(東京)	安達寬(京都)

**注意** 御移轉の節は直ちに(前住所をも並記して)御通知下さい。觀測部(へ入部)の方は其旨附記して下さい。

昭和16年分會費部費領收者芳名

會費(4圓完納)

炭谷惠副(香川)	丸山豐樹(堺)	古賀彦(福岡)
増田豐(姫路)	小泉功(西宮)	藤原吉衛(岡山)
長溝佳雄(旅順)	木村芳子(松山)	伊秩清親(宇部)
岩田與三郎(大阪)	木邊成麿(滋賀)	玉置彌榮(東京)
安達寬(京都)	大野直良(東京)	大澤幸司(大阪)
森清太郎(鎌倉)	神田壹雄(神戸)	中埜哲郎(朝鮮)
矢野彰英(門司)	江川義(千葉)	渡邊季四郎(東京)
大石辰次(静岡)	秋澤保(高知)	石川正夫(大阪)
鄭兒玉(京都)	木下實二(宮崎)	西屋茂雄(東京)
岡本勝太郎(兵庫)	伊達英太郎(兵庫)	守内忠藏(小倉)
鈴木茂男(東京)	山田春雄(群馬)	大内村倉太(岡山)
竹谷實(兵庫)	池田一幸(熊本)	木村七二(長野)
高橋左右平(東京)	河合孝一(滿洲)	香掛崎勉(北海道)
科學館(京城)	藤井永喜雄(臺北)	宮崎秀生(名古屋)
三宅和夫(東京)	中川登代雄(東京)	柴田藤作(金澤)
清宮原材(廣島)	村越美惠生(滿洲)	村石澤與一(埼玉)
宮田伊三吉(石川)	小林義生(京都)	梶村幸雄(兵庫)
小嶋時久(東京)	川崎俊一(岩手)	水谷秀三郎(下關)
津留繁雄(熊本)	飯義壽(今治)	内藤一男(前橋)
谷野辰巳(福岡)	北川政藏(北海道)	青井秀生(名古屋)
吉田清一(岐阜)	細野貞(新潟)	佐藤八郎(神戸)
寺村榮(東京)	荻尾通隆(朝鮮)	長谷川寬(京都)

同(一部納入)

濱部康彰(岸和田)	宮本聖司(東京)	巴山隆(京都)
和田三思(臺北)	細野貞(新潟)	

観測部費 (2圓40銭完納)

小 泉 功 (兵庫)	長 溝 佳 雄 (大連)	伊 秩 清 親 (宇部)
岩 田 與 三 郎 (大阪)	神 田 壹 雄 (神戸)	江 川 義 (千葉)
石 橋 正 (東京)	木 下 實 二	西 川 正 夫 (大阪)
伊 達 英 大 郎 (兵庫)	鈴 木 茂 男 (東京)	中 澤 登 (長野)
竹 谷 實 (兵庫)	山 崎 勝 三 (東京)	高 橋 左 右 平 (東京)
河 合 孝 一 (満洲)	沓 掛 七 二 (長野)	三 宅 和 夫 (大阪)
中 川 登 代 雄 (東京)	村 澤 藤 作 (金澤)	水 谷 秀 三 郎 (下關)
内 藤 一 男 (前橋)	青 井 秀 生 (東京)	金 田 伊 佐 吉 (石川)
安 達 寛 (京都)		

同 (一部納入)

佐 藤 晃 (東京)

昭和15年分會費部費領收者芳名

會 費

織 田 太 郎 (大阪)

観測部費

小 旗 孝 二 郎 (和歌山) 水 谷 秀 三 郎 (下關)

(順序不同)

(領收通知に代ふ)

(15-XII-31 締切)

會 告

◎本會の原動力たる會費は、本會規則第6條にもあります如く、前納されて初めて、本會が經營維持出来る制度であります點を御了解下され、此際會員各位の御協力を得て、一層收入の確實を期し度く存じます。何卒上述の注意を御諒承の上、會員にして未納の方は勿論のこと、新年度會費の納入を勵行して頂き度く、切に希望する次第であります。

念の爲め：—— 昭和16年分會費は 年額4圓です

◎ 観測部印刷物購讀料

東亞天文協會急報 (不定期、但し 每月數回發行) 實費年額2圓40銭 本會々費を 6圓40銭 加算して

The Heavens, No. 237. (March, 1941.)

Issei Yamamoto, Amateurs vs. Professionals (65); To Dr. E. C. Slipher, a letter by E. Date (68); M. Honda, How to Observe Zodiacal Lights (71); A. H. Joy, Giant and Dwarf Stars (74); Y. Moriya, Aluminized Mirrors (77); S. Murayama, Heavenly Sword (80); LATEST KNOWLEDGES on ASTRO-NOMY (84); Monthly Reports, Observing Sections, O.A.A. (88); The Heavens of March, 1941 (100); Letters and Communications (103); Editorial (104).

Published by the Oriental Astronomical Association, Kurasaki Observatory, Japan.

# 東亞天文協會

大正9年(1920年)創立, 昭和7年(1932年)改名

會長	山本一清	(京都市平野宮北町52; 滋賀縣草津町)
副會長	荻宮五藤	齊三
理事	森作造	宇野良雄
教育部長	水野千里	計畫部長 山本一清
報導部長	山本一清	出版部長 高城武夫
觀測部長	木邊成麿	事業部長 大口周作

本部所在地 倉敷天文臺 岡山縣倉敷市  
 事務局所在地 滋賀縣堅田町  
 大阪支部所在地 大阪市電氣科學館プラネタリウム (大阪市四ツ橋)  
 黃道光觀測所 廣島縣沼隈郡瀬戸村

## 東亞天文協會觀測部

1. 流星課 (課長 和歌山縣有田郡金屋 小橋孝二郎, 幹事 宇野良雄)
2. 彗星課 (課長 京都市平野宮北町52 山本 進)
3. 變星課 (課長 木邊成麿, 幹事 倉敷天文臺 岡林滋樹, 小澤喜一)
4. 太陽課 (課長 缺, 幹事 黃道光觀測所 本田 實)
5. 黃道光課 (課長 山本一清, 幹事 本田 實)
6. 豫報課 (課長 山本一清, 幹事 神田壹雄)
7. 機械課 (課長 京都市東三本木信樂 木邊成麿, 幹事 前田治久)
8. 寫真課 (課長 缺)
9. 遊星面課 (課長 兵庫縣川邊郡雲雀丘 伊達英太郎, 幹事 木邊成麿)
10. 掩蔽課 (課長 缺, 幹事 高城武夫)
11. 月面課 (課長 伊達英太郎)
12. 歷史研究課 (課長 井本 進)

### 觀測部規定 (昭和6年11月22日制定)

- 第1條 本觀測部ハ東亞天文協會ノ目的ヲ達スル爲メノ一事業トシテ, 天體ノ觀測研究ヲ行フ。
- 第2條, 第3條, 第6條 (略)
- 第4條 東亞天文協會員ハ希望ニヨリ本觀測部員トナル事カ出來ル。
- 第5條 部員ハ觀測上ノ必要ニヨリ課長ノ指導及ビ東亞天文ブレテン, 東亞天文協會急報並ビニ種々ノ印刷物ノ配布ヲ受ケル。

御申込みは 滋賀縣堅田局區内 東亞天文協會 (電話堅田郵便局)

(送金は安全, 確實な 振替口座 大阪56765番へ)

天界 第237號 昭和16年1月28日印刷 〔定價金40錢〕 送料金5厘  
 昭和16年2月1日發行

編輯兼發行者 滋賀縣滋賀郡堅田町大字堅田はま田167473 東亞天文協會 (振替大阪56765)  
 近江兄弟社堅田基督教會館内 (代表者山本一清)

發行所 同 上 同 上

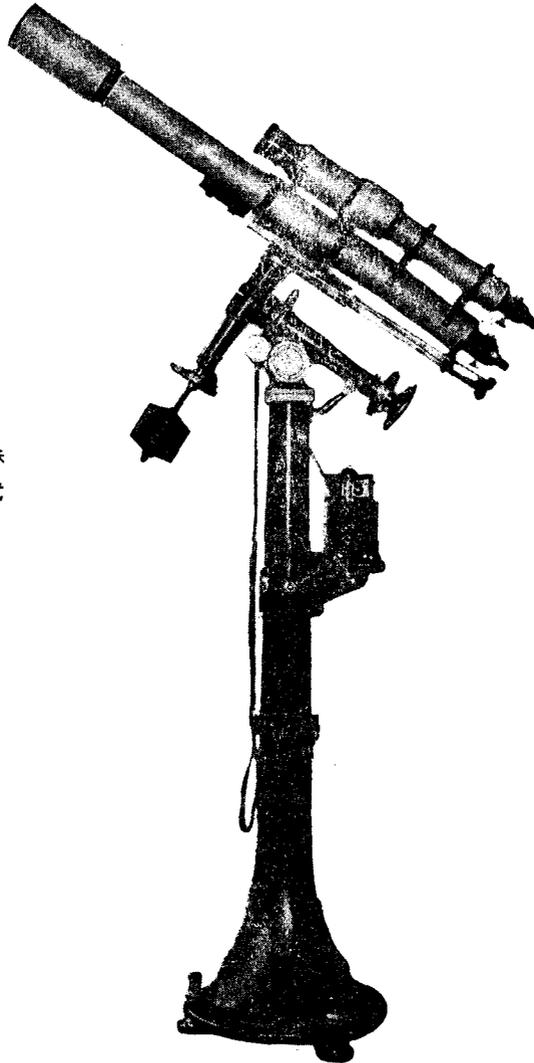
印刷所 京都市上京區上樅木町千本東入 眞美印刷所〔電西陣3702〕

印刷者 同 上 橋本岩太郎

賣捌所 東京市芝區南佐久間町2ノ4 恒星社 (振替東京64738)

Ooto's  
Astronomical Telescopes.

五 藤 式  
天 體 望 遠 鏡



各種類豐富  
——型錄進呈——

十 糎 赤 道 儀

倍 率 三 八 一 三 七 五  
附 屬 品 運 轉 時 計 ・ ア ス ト ロ カ メ ラ

コメットフアインダー其他完備

定 價 金 四 十 餘 (送 料 五 圓)

株 式 會 社

五 藤 光 學 研 究 所

東 京 市 世 田 谷 區 弦 卷 町 一 一 一 四 二  
電 話 世 田 谷 三 〇 五 〇 ・ 四 六 七 四 番  
振 替 口 座 東 京 七 三 二 五 五 番